



ふちえ

《本校の教育目標》

よく考え進んで実行する子
なかよく助け合う子
心も体もきたえる子



足立区立洲江小学校



《洲江小ホームページ》

足立区立洲江小学校

検索

～ 令和2年 スタート! ～

校長 向山 敦子

平成31年4月に着任し、『学校で大切にしてほしいこと、それは、「当たり前」のことに「当たり前」にすることです。当たり前のこととは、「あ・い・う・え・お」です。』と話をしてから早9ヶ月。子供たちは日々の学習、運動会や音楽会など、一つ一つの学習や行事を経験し、大きく成長してきました。「当たり前」のことに「当たり前」にすることを大切に、あいさつが自然に響く学校を目指しているところです。縦割り班活動も定着しており、高学年は低学年に心配りをするのができ、充実した縦割り班遊びや集会を行うことができました。また保護者や地域の皆様のご理解・ご協力のおかげで、様々な懸案や課題はあってもスムーズに学習指導を行い、行事を進めることができました。ありがとうございました。

さて、2019年は元号が平成から令和に変わり、新しい時代がスタートしました。そして今年、2020年(令和2年)は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。干支は最初に戻って子「庚子」(かのえね (ねずみ))です。中国の『漢書』では、「子」は、繁殖する・うむという意味をもつ「孳」という字からきておおり、新しい生命が種子の中に萌(きざ)し始める時期で、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられています。中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表しているのので、十二支の一番目にそのような意味をもつ「子」がくるそうです。それでは、2020年の干、「庚(かのえ)」はどうでしょうか。庚のような干は十干と言ひ、10種類あります。これも植物の成長過程を表します。2020年の庚は「成長が終わった状態」だそうです。つまり、今年2020年の干支には「終わり」と「始まり」があるのです。

洲江小学校に当てはめて考えてみますと、開かれた学校づくり協議会の皆様のご協力をいただき、園芸委員会の子供たちとともに春と秋に苗や球根を植えた「花いっぱい活動」。6月から本格的に始動した「放課後けやき」。12月から取り組み始めた「百人一首の検定」。など、「始」もたくさんありました。これからも新しいことにどんどんチャレンジしていきたいと思っています。この洲江小学校の伝統を築いていくのは子供たちです。きらきら輝く子供の笑顔は地域の宝です。(にっこりということだけではありません。やる気に満ちた笑顔です。)子供が笑顔で過ごすことができれば、保護者や地域の皆様も安心して見守り、協力していただけることと思います。しっかりした土台の上どんな幹を伸ばし、花を咲かせていくのかはこれからの楽しみでもあります。子供たちは、今年もさらに大きく羽ばたいてくれることと期待しています。また新たな歴史が始まります。本校の子供たちが成人する頃は、どんな世の中になっているのでしょうか?大きく変化していく社会で生きる子供たち、これからの時代を担う子供たちに必要な力をしっかりと身に付けさせなければならぬと改めて思う年のはじめでした。

子供たちの笑顔が今年も輝き続けるよう、教職員一丸となって教育活動を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞ、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

